

民児協 あこう

支えあう 住みよい社会 地域から

第 56 号 令和 2 年 春号



有年地区「ふれあい交歓会」

民生委員児童委員信条

一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。

一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。

一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。

一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。

一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。

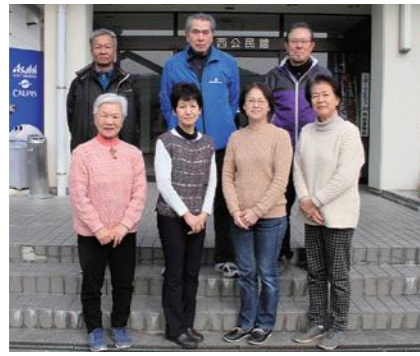
児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境の中で育てられる。





尾崎地区 (15名)
認め合いとつながり支え合う
みんなで達成 尾崎の安全



地区委員長 田淵 泰生
中西 知子 椎畑 廣美
松本なお子 宮本 愛子
中谷 俊文 武本 和宏

西部地区 (7名)
思いやりのある
こころ豊かなまち西部

地区委員長 中田 晴基
目木知恵子 上住 晃
逢澤 貴代 西濱 守
松本 賢仁 大田 登
山本 信行 山本 陽三
水守 保子 橋本久美子
浮田 京子 宮地 有子
山口 五月 竹林 勇
大道 訓敏

地区委員長 久野 俊章
米田 絹子 米谷 徹志
藤田 佳子 水野 亮
松下 良文 天野 姿子
野山貴久子 赤松佐代子

御崎地区 (9名)
みんなで協力
地域福祉を支えよう



地区委員長 濱田 雅司
石橋 洋子 團 増治
山下真理子 名田美佐枝
寺田 洋子 馬場 幸子
目木かず代 古田 優二
中森 逸彌 間鍋 順一
高木 啓子 馬場 三郎
三宅 伸治 和田 秀基



地区委員長 穂本千津子
田原ひとみ 澤田 正代
佐竹 秀元 前川 道子
三橋あけみ 三木 良子
東 勝江 菅野 浩基
酒井 克代

坂越地区 (10名)
和・笑・輪・支えあう
やさしさと安心をつなぐ
歴史のまち「さこし」



地区委員長 寺内 一成
田淵 弘子 原田 敏昭
大田 正之 桐谷 光義
起塚 史章 横山 博好
室井富久代 大田みゆき

有年地区 (9名)
「人生楽生」



地区委員長 高田 寿也
松原 泰弘 西本 弘
古森 雄三 松本 敏浩
林 雅美

高雄地区 (6名)
たすけあい
かかわりあい
おもいあう
高雄の輪

ご自身の担当民生委員児童委員については市社会福祉課へおたずねください。
TEL 4316807



主任児童委員 (5名)
育てよう子どもの心
守ろうみんなの笑顔

松村 裕子 梶原 弘子
睦谷美恵子 山根寿美子
沼田 貴代



就任のご挨拶



赤穂市民生委員児童委員協議会 会長 水野 亮

昨年12月の一斉改選を受けて開催されました協議会において、三たび会長に就任いたしました。水野 亮でございます。微力ではありますが、これから三年間、皆さまの力を借りて、地域福祉の向上に尽力して参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いたします。

地縁、血縁、社縁といった、人と人との縁が薄れる中で、ひとり暮らし高齢者の孤独死や中高年の引きこもり、災害時の要援護者支援、児童虐待や高齢者虐待、DV、貧困家庭の増加など、地域における課題はますます多様化、深刻化しています。また、それら



副会長 久須 律子



副会長 古森 雄三

今回の一斉改選で新しく民生委員・児童委員になられた方々を歓迎いたします。再任された委員の皆さまにおかれましては引き続き、住民の最も身近な支援者、相談役として住民の立場に立った活動をしていただき、地域での見守り活動や支え合いの仕組みづくりに積極的に協力していただくことを期待しております。今後とも当協議会の活動に皆さまのご協力をお願い申し上げます。また、それら

の課題を一つの家庭で複合的にかかえる「複合課題世帯」も見受けられます。そうした状況の中で、地域の身近な相談役として、また住民と行政のパイプ役として私たち民生委員・児童委員に寄せられる期待はこれからますます大きくなると思われま

あなたの地区の 民生委員児童委員です！

城西地区 (14名)
“お変わりありませんか”
声かけあって、
みんなで支える城西のまち

地区委員長 村阪やす子
山野 敏則 石野 光利
山中 清子 北川 明美
橋本 清美 柏 日出男



地区委員長 柳内 和代
久須 律子 山崎 正則
虎津 禎一 清原 洋子
西野 照世 湯元眞美子
陰山 透 牧野 文子
船曳 令子 山崎 悦男
尾上 幸美 西畑 眞美
岩井 伸一 塩江 千津
大道裕実子 宮崎有美子

赤穂地区 (17名)
つなぐ、つながる
地域と元氣



横山 正明 森田みよ子
舛田 三郎 沼田 稔
平井 和子 米原 佳代
西中 和美

塩屋地区 (16名)
目配り、気配り、
向こう三軒両隣





おもちゃ…

少子化が進んだ現代では、ひとりの子どもがたくさんのおもちゃに囲まれてしまう傾向があります。

例えば、誕生日やクリスマス。ひとりの子どもに、両親、双方の祖父母からプレゼントのおもちゃが届くとアツという間に数が増えてしまいます。子どもは目移りはするし、すぐ飽きるし、物を大切にしなくなり片付けが大変になります。

時にはおもちゃを全部しまっ「何で遊びたい?」と聞いて、遊びたいおもちゃだけ出してみてもいいですか? ひとつの物で遊ぶことに集中しましょう。

買わなくてもおもちゃで遊べる場所があります。おもちゃを貸出している所もあります。

「子どもは遊びの天才」おもちゃが無くても、自由な発想で遊ぶでしょう。おうちの人と一緒にいてくれば子どもは安心して遊ぶことができます。

おもちゃを買おうとした時にちょっと思い出してみてください。「部屋におもちゃが溢れていないか」



部会の抱負

高齢者福祉部会

少子高齢化社会の今、人生100年時代と言われる様になりました。地域を見渡しても一人暮らし老人、高齢者世帯は増加の一途です。高齢者を取り巻く社会環境も複雑・多様化していく中で、長くなった老後を心豊かに過ごすには、社会との関わりや地域での支え合いと繋がりが益々大切になってまいります。高齢者の抱える諸問題に対する理解と認識を深め、地域社会貢献に繋がる活動を目指して研修を重ねてまいります。

障がい者福祉部会

今年に入ってまたしても悲惨な出来事に目を奪われました。それは目の不自由な社会の方が東京の京浜東北線日暮里駅のホームから転落し、列車にはねられて亡くなったという記事でした。目、耳、手足等何らかの障がいのある人は全国で約五百万人います。白杖を両手で縦に掲げていたら助けを求めているサインです。バリアフリーも大切ですが困っている人を気に掛ける気持ちも大切です。視野を広く持ち、接し、学ぶことで理解し、社会的障壁のない地域社会を目指してまいります。

児童福祉部会

近時、少子化・児童虐待・子どもの貧困・いじめ等、子どもたちの成長に難しい環境となつていきます。この原因は、私達の暮らしが孤立化して分断の傾向にあるため、根底には差別意識があり、打開には第三者の「マイルドなお節介」が必要といわれています。赤穂市ではこの子育て環境改善のため、「第二期赤穂市子ども・子育て支援事業計画」を策定しており、私達も「共に」という心と行動で、各関係機関との連携・協力に努めてまいります。

広報部会

新しい任期三年が始まり、広報部会もメンバーの一部が交代しました。今回新体制で初めての春号編集を行いました。たがコロナウイルスに鼻を挫かれた感じでした。今後とも、春、秋の二回「民児協あこう」で民生委員・児童委員、主任児童委員、地域福祉推進委員、並びに各部会の活動、地域での楽しい催し等を写真を交えてお知らせします。

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため民児協定例会が中止になり、広報部会も全員で開催することが出来ず、春号の写真、原稿の取りまとめ、編集が思うように出来ませんでした。次回秋号からはコロナウイルスも収束しスムーズな発行が出来ると願っています。

各地区の民生委員・児童委員の集合写真と氏名を掲載しておりますのでご覧下さい。